

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	商業経営支援事業(旧 創業・経営改善支援事業)	会計	一般会計	事業No.	456	施策順No.	12-022
		事業種別	政策・重点	予算科目	7-1-2-11-3		
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			課等名	商業・市街地活性化課		
施策	12 人材育成と企業、人材誘導			事業期間	開始	15	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	1 起業希望者 2 既存商店等						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない	
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
		19歳以上の市民		87245			87000		
		市内の卸売業・小売業・サービス業の事業所数		2914	2914	2914	3000		
意図		1 起業のノウハウを習得し、起業を実現してもらう。 2 経営改善や新分野の開拓を行ってもらう。							
対象をどう変えるか		事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
		講座に参加した商店、起業希望者等	17	48	28	70	132	70	A
		起業体験等に参加した学生、生徒等	84	71	95				
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	4種類の講座を開催したが、目標より多い参加者に集まっていた。特にネットショップ開業講座には募集定員の2倍の申込みがあり、会場に余裕があったため全員に受講いただいた。昨年度に引き続きコミュニティビジネスセミナーを開催したが、カリキュラムの組み立て等に反省が残った。								

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	新規起業を検討している者や、経営改善、新規事業展開等を企画する小売・サービス業者等に対し、支援を行う。コミュニティビジネスを推進するとともに、具体的計画に対し、情報提供や関連事業者との接点づくり等の支援を行う。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 起業セミナー (1)コミュニティビジネス起業セミナー ア 内容 コミュニティビジネス概説、事例見学、ビジネスプラン作成(全4回講座) イ 講師 吉田洋子先生 ウ 会場 鼎文化センター、飯田市公民館 (2)環境ビジネス起業セミナー(NPO法人南信州おひさま進歩に委託) ア 内容 シンポジウム、ビジネスプラン作成(2日間) イ 講師 枝廣淳子先生 外3人 ウ 会場 飯田市公民館 2 経営改善講座 (1)ネットショップ開業講座(全3回講座) (2)販売促進実践講座(全3回講座)	1 (1)受講者数 (2)受講者数 2 (1)受講者数 (2)受講者数	1 (1) 24人 (2) 53人 2 (1) 38人 (2) 17人
	23年度実施計画	1 コミュニティビジネスの推進 (1)コミュニティビジネス起業セミナー (2)具体的計画への支援 2 経営改善講座の開催 (1)ネットショップ開業講座 (2)販売促進実践講座 (3)マーケティングマネジメント講座	講習会、相談会等に参加した人数

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)			特定財源内訳、補足事項
		22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	
	国庫支出金				
	県支出金				
	起債				
	その他				
	一般財源	1,362	1,361	979	
	計(A)	1,362	1,361	979	
	正規職員所要時間		700		
	臨時職員等所要時間				
	人件費計(B)		2,503		
	トータルコスト A+B		3,864		

4 事業に対する市民や議会の意見

起業、経営革新による新規雇用の創出は、急務の課題であり、市民の期待も高い。
---------------------------------------

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	起業・就職してもらう	施策の成果指標又はムトス指標	商工団体等で支援して起業した人数
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	・起業や新分野開拓、経営改善のためのセミナー等支援事業を行うものであり、目的に直結するものである。		
	後期に向けた課題	・景気の低迷により、新分野開拓や経営改善、新規起業への関心が高まっている。関心の高いテーマで、かつ現実には則した内容のセミナー開催や起業支援を行うことで、より目的に沿った事業になると思われる。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	・経営改善講座については、20年度まではネットビジネス講座を2回実施していたものを、21年度からはネットビジネス講座を1回とし、代わりに販売促進実践講座、マーケティングマネジメント講座を取り入れて多様化を試みた。しかし、受講者数はネットビジネス講座が最も多く、その方面の関心・ニーズの高さが受講者数に表れる結果となった。		
	後期に向けた課題	・講座を事業者や市民のニーズにより合致したものとするため、商工団体等との連携を強化するなかで、テーマや内容、ターゲットの設定や受講者の募集方法などを随時見直ししていく必要がある。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	・最低限の経費で事業を行っている。		
	後期に向けた課題	・特になし		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	・広く事業者、市民を受益者とする事業であり、市の関与は適切である。また、講座について、受講者に参加費をお願いしているものもある。		
	後期に向けた課題	・特になし		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをされましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	①主体は商工会議所やNPO法人であり、起業セミナーは商工会議所と協同で実施した。21～22年度の環境ビジネスセミナーは、自然エネルギー推進の団体でセミナー開催実績もあるNPO法人南信州おひさま進歩に、また、ネットビジネス講座をはじめ経営改善講座は、経営・起業支援による地域活性化を目的とした団体であるNPO法人いいた応援ネットイデアに委託して実施している。 ②委託講座についても、企画段階から積極的に関わり、協働意識をもって事業を行った。		
	後期に向けた課題	・講座等のテーマや内容、ターゲット設定などを見直す過程で、商工会議所やNPO法人との連携を更に強化する。		
全体を通じて	4年間の振り返り	・起業セミナーや経営改善講座について、年度毎テーマや内容に変化を付けながら取り組みを行い、受講者数からは一定の成果が見て取れる。しかし、テーマ設定やカリキュラムの組み立てには改善の余地があると思われ、また、受講者がどれだけ起業・経営改善の実践に至ったかの状況把握も十分ではなかった。		
	後期に向けた課題	・市民や小売・サービス業者による地域課題に対応した新ビジネス展開による地域商業・商店街の活性化を目的として、コミュニティビジネスセミナーを実施しているが、テーマの明確化やカリキュラムの工夫を図る必要がある。 ・商工会議所、金融政策室と連携しての講座内容や実施方法の見直し、受講後のフォローアップも含めた体制づくりの検討が課題である。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------